学校番号	J1003

令和５年度　家庭科

学年	1	週授業コマ数	2	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	技術・家庭「家庭分野　生活の土台　自立と共生」　（開隆堂出版）						
副教材等	技術・家庭ノート　家庭分野　（正進社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活の中で、衣食住や家族の生活等に関することなどに関心をもち、自分の生活を見つめ、その中から課題を見つけ、学習に取り組むようにしましょう。
・生活の自立をめざし、家庭生活をよりよく豊かに創造する力を身につけるため、学習したことを活かして、すすんで家庭でも実践するようにしましょう。
・家庭分野の学習については、実習等において準備物が必要になる場合があります。前日に持ち物の点検をするなどして、忘れ物のないようにしましょう。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
（２）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
（３）自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と共同し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td>A家族・家庭生活</td><td>●家庭分野のガイダンス
●家族の一員であることを自覚しよう
1. 家族・家庭の基礎的な機能
2. わたしの生活と家族・家庭
3. 家庭の仕事と家庭を支える社会
4. 家庭生活と地域とのかかわり
5. 持続可能な家庭生活を目指して</td><td>a:自己理解や家族・家庭、地域との関わりを深めることができる。
b: 家族・家庭の役割を考察し、協力するためにできる活動を判断することができる。
c:普段の生活を振り返り、家庭や地域における課題解決に向けて実践的に取り組むことができる。</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">B衣食住の生活</td><td rowspan="2">●自分の健康を考えた栄養の取り方を考えよう
1. 食事の役割と食習慣
2. 中学生に必要な栄養
3. 栄養素の働きと6つの基礎食品群
4. 様々な食品とその選択
5. 自分の健康を考えた献立を考えよう
●自分ひとりでも調理ができるようになろう
1. 調理の計画と道具の使い方
2. 実習を通した調理の基礎と調理室の使い方を学ぶ</td><td rowspan="2">a:食品の栄養的特徴や食生活の基礎的な知識が身についている。
b:食品を安全に判断し、自分に必要な食事を考えることができる。
c:日常の食生活を振り返り、課題を発見し、改善に向けて実践的に取り組むことができる。</td><td>課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
<tr><td>2学期</td><td>A家族・家庭生活</td><td>●家庭分野のガイダンス
●家族の一員であることを自覚しよう
1. 家族・家庭の基礎的な機能
2. わたしの生活と家族・家庭
3. 家庭の仕事と家庭を支える社会
4. 家庭生活と地域とのかかわり
5. 持続可能な家庭生活を目指して</td><td>a:自己理解や家族・家庭、地域との関わりを深めることができる。
b: 家族・家庭の役割を考察し、協力するためにできる活動を判断することができる。
c:普段の生活を振り返り、家庭や地域における課題解決</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
</table>

			に向けて実践的に取り組むことができる。			
3学期	B衣食住の生活	●自分の健康を考えた栄養の取り方を考えよう 1. 食事の役割と食習慣 2. 中学生に必要な栄養 3. 栄養素の働きと6つの基礎食品群 4. 様々な食品とその選択 5. 自分の健康を考えた献立を考えよう ●自分ひとりでも調理ができるようになろう 1. 調理の計画と道具の使い方 2. 実習を通した調理の基礎と調理室の使い方を学ぶ	a:食品の栄養的特徴や食生活の基礎的な知識が身についている。 b:食品を安全に判断し、自分に必要な食事を考えることができる。 c:日常の食生活を振り返り、課題を発見し、改善に向けて実践的に取り組むことができる。	課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習	・課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習 ・定期考査	・活動中や課題への取り組み方の観察 ・ワークシート
				課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習	・課題 ・実習	・活動中や課題への取り組み方の観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1003

令和５年度　家庭科

学年	2	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	35
使用教科書	技術・家庭「家庭分野」生活の土台　自立と共生（開隆堂出版）						
副教材等	技術・家庭ノート　家庭分野　（正進社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭分野の学習は、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫できる力を身につけるうえで大切な学習です。特に中学生の時期は、人々に支えられて生活していることに気づくこと、そして自分も生活を支える一員としての自覚を持ち、生活をよりよくしようとする創意工夫をしていきましょう。

また、班学習などを通じて、ひとりひとりが自己の責任を果たすことの大切さや相互に協力しながら学ぶことも大切なことです。学習したことを生活に活かせるよう、しっかり勉強しましょう。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（２）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

（３）自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現数などして課題を解決する力を身につけている。	家族や地域の人々と協力し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決を主体的に取り組み、振り返って改善し、生活を工夫・想像することを実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td>C消費生活・環境</td><td>●家庭分野のガイダンス
C 消費生活・環境
①家庭生活と消費
②購入・支払いと生活情報
③消費者被害と消費者の自立
④持続可能な社会</td><td rowspan="3">a. 身近な消費生活・環境、衣生活が社会や環境に及ぼす影響について理解し、工夫することができる。

b. 消費生活・環境、衣生活の学習を振り返り、消費者が環境や社会について及ぼす影響・責任について理解している。

c.消費生活・環境、衣生活に関する知識・技能が身についている。</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・振り返りシート</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート
・プリント等への記述</td></tr>
<tr><td rowspan="2">B衣食住の生活</td><td rowspan="2">B 衣食住の生活
①生活を豊かにする物の制作
②目的に応じた衣服の選択
③日常着の手入れと保管
④持続可能な衣生活</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート
・プリント等への記述</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・実習
・振り返りシート
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート
・プリント等への記述</td></tr>
<tr><td>C消費生活・環境</td><td>●家庭分野のガイダンス
C 消費生活・環境
①家庭生活と消費
②購入・支払いと生活情報
③消費者被害と消費者の自立
④持続可能な社会</td><td>a. 身近な消費生活・環境、衣生活が社会や環境に及ぼす影響について理解し、工夫することができる。

b. 消費生活・環境、衣生活の学習を振り返</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・振り返りシート
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート
・プリント等への記述</td></tr>
</table>

3学期	B衣食住の生活	B 衣食住の生活 ①生活を豊かにする物の制作 ②目的に応じた衣服の選択 ③日常着の手入れと保管 ④持続可能な衣生活	り、消費者が環境や社会について及ぼす影響・責任について理解している。 c.消費生活・環境、衣生活に関する知識・技能が身についている。	課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習	・課題の提出状況と内容 ・プリント等への記述 ・実習 ・振り返りシート ・定期考査	・活動中や課題への取り組み方の観察 ・ワークシート ・プリント等への記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	J1003

令和５年度　家庭科

学年	3	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	20
使用教科書	新編新しい技術・家庭「家庭分野」自立と共生を目指して（東京書籍出版）						
副教材等	技術・家庭総合ノート　家庭分野　（明治図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭分野の学習は、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫できる力を身につけるうえで大切な学習です。特に中学生の時期は、人々に支えられて生活していることに気づくこと、そして自分も生活を支える一員としての自覚を持ち、生活をよりよくしようとする創意工夫をしていきましょう。

また、班学習などを通じて、ひとりひとりが自己の責任を果たすことの大切さや相互に協力しながら学ぶことも大切なことです。学習したことを生活に活かせるよう、しっかり勉強しましょう。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（２）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

（３）自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現数などして課題を解決する力を身につけている。	家族や地域の人々と協力し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決を主体的に取り組み、振り返って改善し、生活を工夫・想像することを実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">3
私たちの成長と家族・地域</td><td rowspan="2">●家庭分野　ガイダンス
・幼児の生活と家族

①幼いころを振り返ろう
②幼児の体の発達について考えよう
③幼児の子事の発達について考えよう
④幼児の生活習慣の習得について考えよう
⑤幼児の生活と遊びを知ろう</td><td rowspan="2">a. 幼児の生活と家族の学習を振り返り、家族や地域の人と関わり、自身にできることはなにかを考え、実践することができる。

b. 幼児の生活と家族に関する知識・技能が身についている。

c. 幼児の生活と家族の学習を通して、家族や関わる人々に支えられてきたことに気づく。</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3学期</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
<tr><td>2
編私たちの衣生活と住生活</td><td>・住生活と自立
①住まいの役割と住まい方を考えよう
②住まいの安全について考えよう
③災害に備えた住まいについて考えよう
④健康で快適な室内環境を工夫しよう
⑤よりよい住生活を目指して</td><td>a. 災害に備えた住まい方について考え工夫することができる。また、健康で心地よい生活をするために住生活を工夫し、実践することができる。

b.住生活の安全について理解し、工夫することができる。

c.住まいの役割と住まい方について理解し、考えることができる。</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述</td><td>・課題の提出状況と内容
・プリント等への記述
・定期考査</td><td>・活動中や課題への取り組み方の観察
・ワークシート</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度